

令和6年度 第6回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

令和7年1月21日（火）午前10時00分～11時20分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階第1会議室

【参加者】

出席委員 西川功美、西尾とよ子、辛川宗雄、山下和彦、前田勝美、八百谷和子、平井育子
入江真知子、福山裕正、西村勝 以上10名（敬称略）

オブザーバー J A鳥取いなば、市議会議員2名ほか

事務局 用瀬町総合支所 太田支所長、岡本副支所長、遠藤地域振興課長補佐

【次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題・報告事項等
(1) 用瀬町・佐治町における買い物環境確保について
- 4 閉会

3 議題・報告事項等

本会議については繊細な内容も含まれるため、議長が非公開の必要があると認め、地域振興会議条例第7条第5項の規定により、会議に諮った上で非公開とした。

ただし、議事概要は公開する。

(1) 用瀬町・佐治町における買い物環境確保について

(オブザーバー)

「用瀬町農協」から平成7年に広域合併し、「J A鳥取いなば」に至る経緯などについて説明。

(オブザーバー)

トスク各店舗閉店から現在に至るまでの経緯について説明。

また、J Aの敷地、南側に位置するトスク用瀬店の建物は、A T Mの併設、2階部分はテナント業者での営業、J A鳥取いなば用瀬支店の事務所と一体的なL字型構造の建物であり、売却等は考えていないことを説明。

【買い物環境の確保について】

(委員から)

- 今の土地を売却して早くどこか事業を引き受けてくれて、店舗を開店して欲しいという思いがある。
- 閉店した店舗は面積が大きいので、全部使うのではなく例えば半分くらいに区分けしてやるという方法があるのでは。
- もし店舗を作るのなら、生鮮食品を置くスペースを有するコンビニのような形態も検討して

みてほしい。

- トスクがあったところは駐車場が国道から出入りしやすく、とても使いやすい。
- 1番ニーズがあるのは自分で目的の場所に行くことが難しい高齢者。高齢者向けの品揃えのあるお店ができれば良いと思う。
- ボランティアで行う食事サービス食材調達などにも支障が出ており、福祉サービスの低下にもつながる。
- 買い物環境が整っていないと、生活が非常に不便になる。これからさらに高齢者が増えて、免許返納する方も増えるなかで早めに対策をとっていかないと、用瀬の人口はどんどん減少していく。これからの空き家活用・移住定住推進にも弊害が出てくる。
- 「生活しやすい地域にしていく」ことが、我々に課された使命だと思う。

(オブザーバーから)

- 県や市には、店舗整備や改修に対する支援制度があると聞いている。限度額はあるが、事業者はそういった支援を活用することも検討してほしい。
- 店舗参入には購買調査やマーケティングが必要となると思うので、すでに流通システムを持っている事業者が、社会貢献という意味も併せて事業を検討していただけたら。
- 車を持つ世代は近隣のスーパーまで買い物に行く。注力すべきなのは、交通手段を持たない高齢の買い物弱者であり、そういったことに配慮して、店舗誘致を進めてほしい。

【今後の取り組みについて】

(委員)

- 用瀬町と佐治町で連携して、買い物環境の改善に取り組んでいってはどうか。

(オブザーバー)

- 地域のために地域で買い物することは、結果として自分たちに還元されるという考えのもと、購買層のターゲットやマーケティングについて考え、人口減少にも耐えうる持続可能な店舗経営はどういった形なのかなど勉強しながら、一緒になって取り組んでいくことを提案する。

(オブザーバー)

「用瀬・佐治地域の買い物環境のため、持続可能な店舗の誘致を行っていただきたい」という地元の声をJAへ届ける。

今後も引き続き、用瀬町・佐治町で力を合わせて、買い物環境確保を目指した取り組みを推進していくことで、一同了解を得た。

4 閉 会